
寒冷地形談話会通信（メール版）

2001 年度第 2 号

2001 年度 第 2 号目次

- (1) 6 月例会報告
- (2) 2001 年度夏の学校のご案内
- (3) 日本地理学会秋季大会の巡検のご案内
- (4) 事務局への連絡アドレスについて
- (5) 訂正とおわび

(1)6 月例会報告（6 月 23 日，於：明治大，参加者 14 名）

苅谷 愛彦(千葉大)

「地質図幅"立山"・"白馬岳"：山地の第四紀地図は作れるか」

演者は地質調査所（現：独立行政法人産業技術総合研究所）5 万分の 1 地質図幅「立山」および「白馬岳」の作成に従事してきた。本発表では調査メンバーの人選，研究予算，野外調査の実状，地質図・報告書原稿の執筆・印刷行程など，地質図の制作過程を順を追って具体的に説明した。また広域テフラと河成段丘堆積物・氷河堆積物の層位関係や，多数の AMS 14C 年代など，両図幅の調査過程で得られた新知見を紹介した。さらに，両地域で今後なすべき研究課題 ----- 氷河堆積物の記載とそれにもとづく氷河底環境の復元，真川や岩岳に分布する湖沼堆積物の分析，大規模マスマーブメントのマッピングや編年など ----- を述べた。発表のまとめに代えて，6 年後に日本で開催される可能性がある国際第四紀学連合 INQUA 会議に向け，この地域を例にした高山の第四紀地図の試作が提案された。しかし基図の縮尺や掲載項目など，十分な議論を経て決めておくべき課題も多いとの意見が出された。

(2) 2001 年度夏の学校のご案内

今年度の夏の学校は「氷河作用研究グループ」と合同開催となります。大まかな予定は次の通りです。

~~~~~

以下，氷河作用研究グループのホームページ(<http://glacier.ees.hokudai.ac.jp/>)より抜粋

案内者 長谷川裕彦さん（明治大）

- 9 月 10 日 各自移動 新穂高温泉入山口集合（キャンプもしくは宿）
- 9 月 11 日 朝入山 左俣巡検 キャンプ
- 9 月 12 日 巡検 午後あるいは夕刻下山 解散
- 9 月 13 日 （遠方者 帰途）

~~~~~  
参加ご希望の方は電子メールにて澤柿さん（北海道大学）にお知らせください。澤柿さんの電子メールアドレスは sawagaki@ees.hokudai.ac.jp です。寒冷地形談話会事務局にはがき等でご連絡していただいても結構です。仔細につきましては次号に掲載する予定です。また「氷河作用研究グループ」のホームページ (<http://glacier.ees.hokudai.ac.jp>) もご覧ください。

(3) 日本地理学会秋季大会の巡検のご案内

秋田大学でおこなわれる日本地理学会秋季大会の地形巡検のご案内です。仔細につきましては次号に掲載する予定です。

~~~~~  
日程：10月1日（月）

テーマ「男鹿半島の広域テフラと変動地形および火山地形」  
~~~~~

(4) 事務局への連絡アドレスについて

一時的に変更されていた事務局への連絡アドレスは、従来のアドレス、(amaizawa@kisc.meiji.ac.jp) に戻りました。

(5) 訂正とおわび

通信 2001 年度第1号で文面に誤りがありました、以下のとおり訂正するとともにお詫びします。
誤：「寒冷地形談話会通信の『メール会員』の送信方法で、ワードに添付して送信できないかという意見
がありました。現時点ではウィルス等の問題があるので従来どおりの送信方法になります。」
正：「寒冷地形談話会通信の『メール会員』の送信方法で、ワード形式でメールに添付して送信できない
かという意見がありました。現時点ではウィルス等の問題があるので従来どおりの送信方法になります。」